



# みどりのきずな

平成 29 年 10 月 1 日発行 第 32 号

編集: 緑区支え合いのまち推進協議会広報部会 発行: 緑区支え合いのまち推進協議会事務局 緑保健福祉センター内

TEL:043(292)8142 FAX:043(292)8276

## 第 4 期緑区支え合いのまち推進計画はお互いに 寄り添い合う気持ちを大切にしたい目標を

委員長 岡本 博幸

町中のエスカレーターに乗ろうとしていたときのことでした。前に高齢者の方が杖をついてどうしようか戸惑っていました。「どうしたんですか」と声をかけると、「おっかなくて足が出ないのです。吸い込まれるような気がして」ということでした。高齢者にとっては、次から次へと出てくる板があたかも生き物のように思われたのかもしれませんが。吸いこまれていく板に恐怖感が高まりどうすることもできなくなり、そこに佇んでしまっていたのです。

私は「大丈夫ですよ」と声をかけて、高齢者を抱きかかえて一緒に乗りました。高齢者は私に力いっぱい抱き付いていました。下りるときは抱いておろしてあげました。高齢者はほっとした様子でした。挨拶を交わして別れました。ほんの 1 分ぐらいの時間だったと思います。

この体験から私も自分のことを思い出しました。私もエスカレーターや動く歩道での最初の一步は今でも緊張します。一步を踏み出したときは「ほっ」とした気持ちになり、下りるときも「ほっ」とした気持ちで歩き出します。乗っているときは動きのままですが、乗り降りの瞬間はやはり緊張していたことを改めて思い出しました。

進歩と変化の速い現代社会、ともすれば何か忘れていくことがあるのではないのでしょうか。それは人に寄り添った考えです。その開発に当たってほしいと願っています。

私は携帯電話を十分使いこなせません。ましてスマートフォンは持っていません。皆さんは便利だと言うけれど、その操作を理解するまで

が容易ではないのです。その上もっと理解できないのが「外来語・和製外来語・その略語」です。新聞の記事の外来語の多いのにも困っています。例えば最近まで理解できなかった言葉に「ガラケイ」という言葉がありました。辞書には出ておらず、人に聞くこともできずにいたところ「ガラパゴスのような携帯電話機」ということがわかりました。意味がまた複雑で「ガラパゴス諸島の生物進化・日本企業が電話機器への付属機能の付与、携帯使用に対し外国との考え方の差、そして輸出」等々複合的意味があることにびっくりしました。

「こんなことは常識だよ」と言われるかもしれませんが、高齢者にとっては意味不明、別世界のことなのです。高齢者が社会の進展についていけない事柄が多々あるのは事実です。そんなときは相手の立場に立ち、分かりやすく、面倒くさがらず、寄り添ってあげてほしいと思います。今までできたことができなくなることも高齢者なのですから。

緑区の高齢者の割合は 29 年 6 月現在 65 歳以上高齢化率 21.2% です。地域によっては 49% の地区もあります。高齢化に伴い独居老人、老々介護、認知症、買い物困難、家事・管理等々の問題が生じてきています。これらの人々に寄り添い助け合う地域社会のあり方が求められていると思っています。

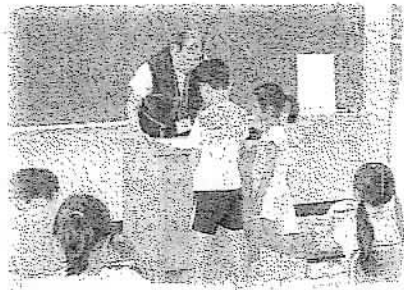
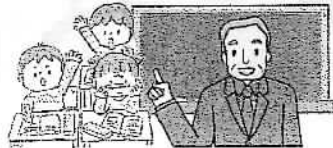
平成 30 年度から第 4 期の福祉計画が実施されます。現在各地区部会では、福祉活動の重点目標の設定にむけて鋭意検討中です。今後 3 年間の地域福祉活動の礎ができあがります。

お互いに寄り添い合う地域社会の構築に向けて推進していきたいと考えています。

## 椎名地区

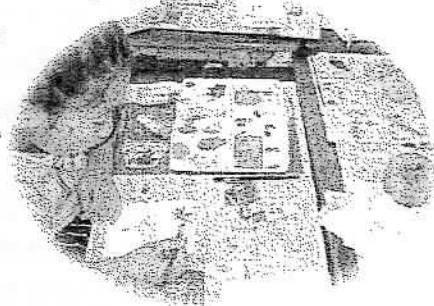
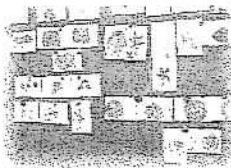
### 地域で子どもを見守りながら育てています

活動の一つとして、椎名小では椎名地区部会及び保護者の有志の方が講師となり、毎週水曜日の始業前15分間を利用して「漢字パワーアップ授業支援」を行っています。①子どもとのコミュニケーションづくり、②礼に始まり、礼で終わる習慣づけ、③漢字や送り仮名の正しい書き方を知ってもらうこと等を趣旨として実施しています。子どもたちが漢字を好きになり、より丁寧に書いてもらえるよう、ユーモアや褒めことばを交えた指導を行っています。



### ものづくりに挑戦しています (椎名小学校)

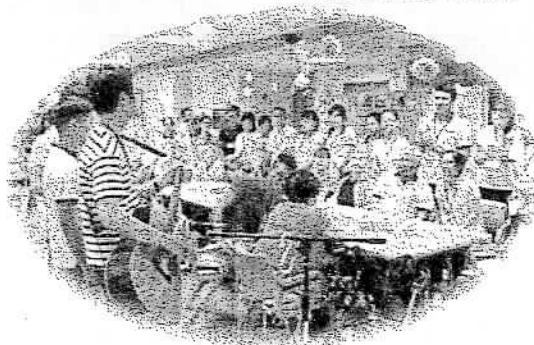
私たち椎名小4年生は、地域のボランティアの先生に教わりながら「絵手紙」づくりをしました。お父さん・お母さんいつもありがとうございます、おじいさん・おばあさんいつまでも「お元気でね」という気持ちをこめて描き贈りました。



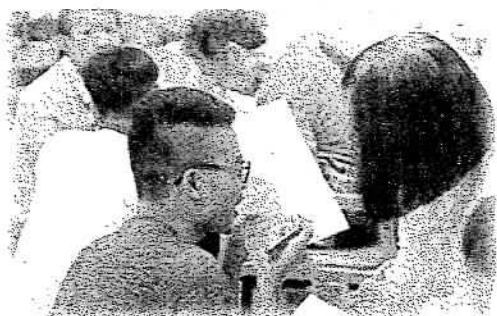
## 誉田地区

### 特別養護老人ホーム「ときわ園」からの報告

7月13日(木)に、日越経済連携協定に基づくベトナム人介護福祉士候補者第四陣36名のみなさんが、平川町の特養ときわ園をご訪問くださいました。わずか2時間余りの交流ですが、利用者の皆さんと候補者の間で日本語による会話と挨拶が交わされました。候補者にとってはこれから始まる日本での暮らしを前に、ベトナムの教室で学んだ日本についての知識を発揮する初めての機会です。ベトナムの彼らの純粋な瞳と明るい笑顔は、利用者の皆さんのそして職



員の気持ちをととても清々しいものにしてくれ、忘れ難い思い出を残してくれました。訪問の最後には、候補者の皆さんが全員でデイサービスの利用者の皆さんに、「ひまわりの約束(「STAND BY ME ドラえもん」主題歌)」の合唱をプレゼントしてくださいました。この後、全国各地の介護施設に散らばって就労・研修をされる候補者の皆さん。介護福祉士資格取得に向けてどうぞがんばってください。

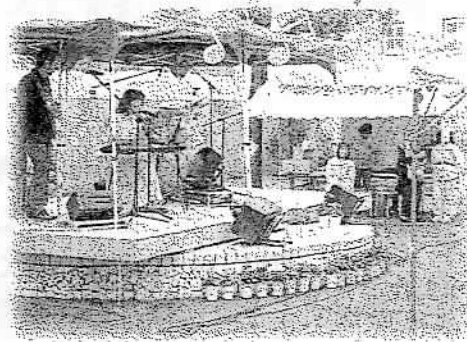




# 土気地区

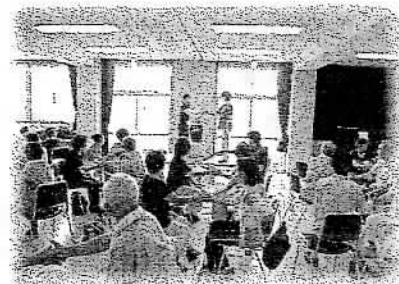
## 第23回「ふれあい福祉フェスティバル」開催のお知らせ

10月21日(土)22日(日)の2日間、土気小学校体育館(土気駅北口徒歩5分)でふれあい福祉フェスティバルを開催いたします。福祉施設の手作り品の販売、施設の紹介、地域諸団体の歌や演奏の発表などが予定されています。楽しいフェスティバルです。多くの皆様のご来場をお待ちしています。※今年は開催場所が異なります、ご注意ください。



## ボランティア研修・交流会

7月12日(水)、土気公民館において、講師に体操指導の平千恵子先生をお招きして『優しく楽しく みんなで身体を動かしましょう!』というテーマでボランティア研修会・交流会が開催されました。体操指導では、災害から自力で逃げる筋力をつけること、コミュニケーション(連携)を深めることの2つを目標に、椅子の正しい座り方や良い姿勢の指導からはじまり、楽しいゲームを通した運動まで集中して行う大切さを学びました。

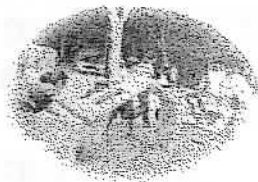
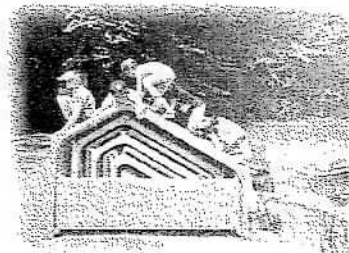
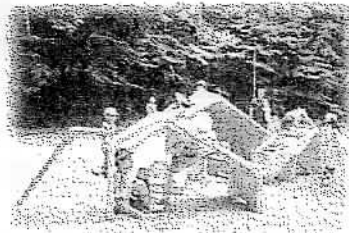


# おゆみ野地区

## 子どもの遊び場 おゆみ野 cafe

毎月第4土曜日の11時から有吉公園内で開催している『子どもの遊び場おゆみ野 cafe』。7月の企画は『水で遊ぶ水パーティ』。開始時間になると、テントやお弁当持参のファミリー、水着や水鉄砲持参の子どもたちが続々集まってきました。近隣の大学生もスタッフとしてたくさん参加いただき、子どもたちと一緒にびしょ濡れになって遊んでいました。毎年恒例の流しそうめんでは、たくさんの方が、『美味しい〜』と笑顔で食べていました。

また、進化して登場した移動式遊具はたくさんのお子どもたちが群がり自らの発想で組み立てて遊んでいました。おゆみ野 cafe では大人も子どももいっしょに楽しい時間を過ごせます。



## おゆみ野「みなみまつり」

さて、この日(7月22日)の夕方からは、あきのみち公園で『第4回みなみまつり』が開催されました。あの広い公園を人で埋め尽くすくらい人気のお祭りで、ステージでは地域のダンスチームが素敵な演技を披露。地域の方々による出店、近隣小中学校の校長先生とのジャンケン大会や、シャボン玉おじさんの感動的なフィナーレなど、アットホームな温かいお祭りでした。おゆみ野の夏はイベント盛りだくさんでした!



# 委員の一言 コ-ナ-



千葉市身体障害者連合会  
廣田 健次

皆さんは、目の見えにくい障がいを持っている人の存在を意識されたことはあるでしょうか。私は先天性の視覚障がい者で、全盲です。外出するときには、白杖を持って歩くので、目が不自由なことをすぐに理解していただけます。おかげで嫌な思いをすることもありますが、このごろは配慮していただけてありがたいことが増えました。

最近新聞の投書欄で、優先席に座っていた心臓に障がいを持つ若者が年配の乗客に席を譲るようたしなめられ、嫌な思いをしたとか、聴覚障がい者が、就職先の上司に遠くから挨拶されたのに気づかなかったこ

とを無視されたと勘違いされ、会社に居づらいという記事を、立て続けに読み、考えさせられました。

緑区には、ろう学校や特別支援学校などの教育施設や、リハビリテーションセンターや精神医療センター、こども病院などの医療機関等、当事者の利用が多い施設が立地しています。障がい者が昼間生活をしたり、働く場を提供している福祉作業所なども多く、沢山の障がい当事者が、地域で生活されています。

皆さんも日ごろから、自分の身の回りに何らかの障がいを持った方が居られるかも知れないことを、頭の片隅に置き、ほんの少し気持ちにゆとりを持ちながら、生活していただけると障がい当事者の一人として、とてもありがたく思います。



## ふくしトピックス

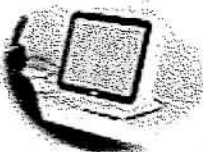


### ◆あんしんケアセンター健康相談会開催◆

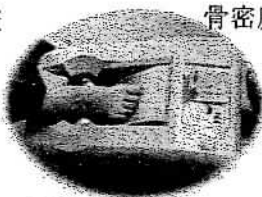
あんしんケアセンターは高齢者（65歳以上）の皆さんの身近な相談窓口として、緑区には鎌取・菅田・土気の3センターが設置されています。認知症や介護・福祉制度に関する相談のほか、体操教室や健康相談等も行っています。

いくつか健康相談・介護予防の取組みをご紹介します。

脳年齢検査



骨密度



平山第一シニアクラブ足指体操



土気健康相談会

健康相談、機械を使った脳年齢検査、血流測定、骨密度、足指測定は、お一人ずつ計測し、結果に皆様、興味津々でした。

皆様の地域でも、ご自身の健康について一緒に考えてみませんか？

### <お問い合わせ>

鎌取地区 ☎：043-293-6911 鎌取駅前ゆみ〜る5階  
菅田地区 ☎：043-300-4855 武村内科医院 正面  
土気地区 ☎：043-295-0110 バーズモール内

## 編集後記

推進協議会の委員をやらせていただいてから4年。今年度は初めて広報を任されました。緑区は交流が盛んで豊かな地域力を有する土地柄だと思います。もっと交流が増え地域力が向上するよう、わずかながらでもこの広報が貢献できたら…。そんな思いで1年間頑張りたいと思います。応援よろしく願いいたします！（H.I）